

2017年02月07日

在リオデジャネイロ日本国総領事館

【エスピリトサント州における一連の暴動】

2月3日（金）からエスピリトサント州において、街頭の警備、パトロールを主任務とする州軍警察の家族によるストライキ（州軍警察官自身のストライキは法律により不可）が実施されており、事実上、街頭警備が行われていない状況が続いています。

- 当地主要紙「オ・グローボ」によれば、ストライキの影響により、ヴィトリア市内及び郊外を中心に殺人、アハスタオン（集団強盗）、店舗強盗、銃撃戦が多発しており、これらは学校、保健局の閉鎖といった行政にも影響を及ぼしているほか、市内を循環するバスの運行も停止するなど、市民の生活に直接的な影響を与えています。
- 州文民警察によれば、ストライキが始まって以降、6日までの間に62の遺体が同鑑識課に運び込まれており、その全てが殺人事件によるものであるとのこと。事態を受けて、州政府は、6日、先月就任したばかりの軍警察総司令官を解任し、Nilton Rodrigues 大佐を新たに任命するなどして事態の收拾を図っています。
- 連邦政府では、既に200人の国家治安部隊を編成し、現地に送り込んでパトロール活動を開始したほか、軍の投入も検討しています。
- 以下当地主要紙「オ・グローボ」電子版「G1」において混乱した町の様子が報道されています。

<http://g1.globo.com/espírito-santo/noticia/2017/02/grande-vitoria-registra-51-mortes-durante-protesto-de-familias-de-pms.html>

【当館から】

- 当館からエスピリトサント州軍警察に問い合わせた結果、7日現在、州軍警察の家族によるストは継続しており、実質的に警察による街頭警備は行えない状況にあるとのこと。
- 当館から治安当局に対して、早期の治安維持活動の再開と警備強化を依頼していますが、一連の暴動はヴィトリア市内及び郊外で発生しており、周辺に在住の方は、当面の間、不要・不急の外出は可能な限り控えるようにして下さい。
- また、日本又は他州から同州への出張、旅行を計画の方は、上記状況を踏まえ、事前情報を収集し、十分注意した上で渡航するようにして下さい。